

「うながす」

■エピソード

ある日、中学生の さくらは、家に帰ってからスマホをずっと使っています。その様子を見かねた母の美樹が話しかけました。

美樹：「いつまでもスマホばかり見ていないで、時間があるなら、少しは本を読んだらどうなの。」

さくら：「本なんか、おもしろくないよ。じゃあ、スマホはやめてテレビでも見ようかな。」

美樹：「なんでこんなことになっちゃったのかしら。小さい時は、絵本が好きだったのに…。」



美樹は、さくらが小さかった時のことを思いうかべました。

さくら：「ママ！絵本読んで！」

美樹：「しょうがないわね。1回だけよ。」

美樹は、さくらに絵本の読み聞かせをしました。

さくら：「わあ〜い。もう1回読んで。もう1回。」

美樹：「さくらちゃんは本が好きね。あと1回よ。」

美樹：「小さい時は絵本が好きだったのに。どうして、スマホをいじったり、テレビを見たりしてばかりなの。」

さくら：「お母さんだって、本を読んでいるのを見たことないよ。」

美樹：「私は読む暇がないの。読みたくても読めないのよ。」

さくら：「そんなの、言い訳じゃない。本なんておもしろくないよ。あっ、友達から連絡が来てるから返信しなくっちゃ。」

美樹：「…」

そうして、さくらはまたスマホをさわりました。



グループワーク

- ① エピソードを読んで、どのように感じましたか？

- ② 子どもの頃、どんなことをして過ごしていましたか？
(していた遊び、読んだ本など)

- ③ 本を読むきっかけには、どんなことがありますか？